

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

生活環境部

【令和3年度重点目標】

重点目標	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成と取組の推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>①資源循環型施設建設に向けた地元自治会等との合意形成</p> <p>(1) 上田地域広域連合と連携した環境影響評価の円滑な推進</p> <p>(2) 新たな組織での協議の開始</p> <p>②し尿前処理下水道投入施設建設に向けた詳細設計と地域振興の推進</p>	<p>①</p> <p>(1) 配慮書の手続完了、方法書の手続開始</p> <p>(2) (仮称)資源循環型施設整備協議会の設立及び協議の開始</p> <p>②</p> <p>(1) 詳細設計業務の開始</p> <p>(2) 地域振興事業の実施</p>	<p>①</p> <p>(1) 6月に配慮書を長野県に提出、4月から6月までに地元自治会及び上田圏域全体での住民説明会を合計5回開催 環境影響評価 方法書以降の業務委託について業者選定を実施</p> <p>(2) 8月に資源循環型施設整備協議会を設立、2回の協議を実施（8/3、9/30）</p> <p>②</p> <p>(1) 5月に日本下水道事業団と協定締結、詳細設計を開始</p> <p>(2) 7月末までに古戦場公園コミュニティセンターの改修工事等を完了</p>
重点目標	循環型社会の形成に向けたごみの減量・再資源化の推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	<p>①ごみ減量化、適正処理の啓発と推進</p> <p>(1) 可燃ごみの減量</p> <p>(2) 生ごみ減量施策の推進</p> <p>(3) 事業系ごみの実態把握と減量への協力依頼</p> <p>②生ごみリサイクルシステムの構築</p> <p>(1) リサイクル施設整備に向けた調整</p> <p>(2) 生ごみリサイクル推進会議の開催</p> <p>③災害廃棄物処理計画の策定</p>	<p>①</p> <p>(1) 前年度比 △500 t（△1.50%）</p> <p>(2) 減量化機器補助 300台 段ボールコンポスト基材配布 600個</p> <p>(3) 事業所訪問</p> <p>②</p> <p>(1) 候補地選定、事前調査の実施</p> <p>(2) 新規設置により会議を開催</p> <p>③</p> <p>(1) 年度内に災害廃棄物処理計画を策定</p>	<p>①</p> <p>(1) 可燃ごみ搬入量 17,488 t（前年度同期比 +193 t [+1.12%]）</p> <p>(2) 減量化機器補助 254台（達成率 84.7%） 段ボールコンポスト基材配布 354個（達成率 59.0%）</p> <p>(3) 事業系ごみの排出及び処理状況調査のため、スーパーマーケット3箇所を訪問した。（商工課が実施する量目検査へ同行）</p> <p>②</p> <p>(1) 有機物リサイクル施設の建設候補地として丸子陣場地区を選定した。周辺自治会等への説明会を経て、事前調査の内容を見直し、関連経費を補正予算計上して、事前調査に向けた準備を実施した。</p> <p>(2) 設置に向けた調整を実施</p> <p>③</p> <p>(1) 災害廃棄物処理計画策定に係る基礎資料の数値・文言等の修正整理等、計画の素々案（たたき台）の作成を進めた。</p>
重点目標	地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>①地球温暖化防止対策の推進</p> <p>(1) 上田市気候非常事態宣言及び上田市地球温暖化対策地域推進計画に基づいた再生可能エネルギー利活用の推進</p> <p>(2) 宣言及び推進計画に基づく環境配慮行動に向けた市民意識の醸成</p> <p>②公共施設における地球温暖化防止活動の推進</p> <p>(1) エコオフィスうえだ（第四次上田市役所地球温暖化防止実行計画）の推進</p> <p>③消費生活の見直しの推進</p> <p>(1) 食品ロス削減の推進</p> <p>④環境保全の推進</p>	<p>①</p> <p>(1) 補助件数 太陽光：300件/年・1500kW/年 (R3年度 累計6091件・28,370kW) 太陽熱利用：20件/年 (R3年度 累計601件)</p> <p>(2) 通年：自治会等への啓発活動</p> <p>②</p> <p>(1) 温室効果ガス削減目標達成に向けた省エネ・創エネ設備の導入</p> <p>③</p> <p>(1) 30・10運動推進協力店登録 新規10店</p> <p>④</p> <p>(1) アレチウリ駆除 参加2,000人 駆除量2t (2) 不法投棄パトロール 延べ1,000回以上</p>	<p>①</p> <p>(1) 太陽光：208件・1431KW（件数69.3%、出力95.4%） 太陽熱利用：15件（件数75.0%）</p> <p>(2) 6/16号広報うえだ掲載（推進計画の概要と市補助金を掲載） 7/16号広報うえだ掲載（県の太陽光発電設備等共同購入事業） 7/16、9/16 自治会回覧（県の太陽光発電設備等普及促進関連事業）</p> <p>②</p> <p>(1) 公共施設の水銀灯利用施設の再調査を実施し、LED照明への改修を勧めた。豊殿地域自治Cをレジリエンス強化と温暖化対策による改修を検討した。学校施設のLED化の計画策定を推進した。</p> <p>③</p> <p>(1) 0件（コロナ禍の影響）、新規に食ロス削減啓発活動を実施（アリオ上田、JR上田駅）</p> <p>④</p> <p>(1) アレチウリ駆除 参加者 3,065人 駆除量 2.1t (2) 不法投棄パトロール 延べ 569回</p>

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

生活環境部

【令和3年度重点目標】

重点目標	犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進		
	具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	①特殊詐欺や悪質商法などの消費者被害防止対策の実施 (1)警察、企業等との情報共有による効果的な未然防止策の推進 (2)多様な媒体を活用した啓発活動の実施 (3)特殊詐欺等被害防止対策機器の普及促進 ②子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進 (1)交通安全計画の策定 (2)高齢者を対象とした夜光反射材の配付 (3)交通安全教室の実施 (4)高齢者を対象とした自転車用ヘルメットの着用の促進 ③自治会等との協働による防犯意識の高揚と被害防止の推進 (1)地域安全運動の実施 (2)駅前防犯パトロールの実施 (3)青色灯パトロールカーによる防犯パトロールの実施	①特殊詐欺被害額の前年比減少(令和2年度被害額2,939千円) (1)特殊詐欺等被害防止連絡協議会 2回 (2)緊急メール・ツイッターの活用 (3)補助台数100件 ②人身事故死傷者数抑止目標 600人以下 (1)年度内 (2)800人 (3)通年：50回 (4)【新規事業】購入費補助100件 ③刑法犯認知件数の前年比減少(令和2年度認知件数488件) (1)年4回 (2)5月から9月：毎週金曜日 (3)毎週水・金曜日	①特殊詐欺被害件数8件（前年比+1） (1)1回実施（7月6日開催） (2)緊急メール・ツイッター21回発信 (3)35件 ②人身事故263件（+12）、死者数3人（+2）、負傷者数315人（+17） (1)素案作成中 (2)300人 (3)48回実施（11回がコロナで中止） (4)65件 ③刑法犯認知件数268件（前年比-66）【最新：8月末現在】 (1)3回実施 (2)9回実施（7回がコロナで中止） (3)42回実施（実施人員78人）
重点目標	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上		
	具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
5	①上田市市営住宅等長寿命化計画に沿った住環境整備の推進 (1)耐久性及び安全性の向上を目的とした長寿命化型・安全確保型改善事業の推進 (2)安心・安全な住まいの確保を目的とした建替事業の推進 ②住宅使用料の収納率の向上 (1)現年度分収納率 95%以上 滞納繰越分収納率 過去3年間の実績平均以上 (2)誠意が見られない滞納者への対策 ③市営住宅の管理代行制度（委託）導入に関する協議	① (1)屋根及び外壁塗装 千曲町団地(2棟)（年度内） (2)緑が丘団地 建替基本計画策定、関係者説明（年度内） ② (1)現年度分 95%以上、 滞納繰越分11.8%以上 (2)法的措置を視野に入れた納付指導及び折衝強化 ③運営方法の決定	① (1)屋根・外壁改修 千曲町団地 2棟30戸を実施 (2)入居者及び地元説明を実施 建設方法や規模等について庁内関係課と協議を実施 ② (1)現年度分40.5%（対前年同期比△0.5%ポイント）、滞納繰越分5.1%（対前年同期比△2.3%ポイント） 現年+滞納34.1%（対前年同期比△0.4%ポイント） (2)納付指導の強化及び連帯保証人への協力依頼を実施 ③今後の市営住宅運営方法に関する庁内協議を実施